

サステナ関連契約1兆円

25年度めどSMFL、4年前倒し

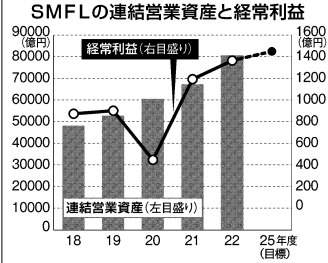
三井住友ファイナンス&リース(SMFL)は、2025年度までサステナブル(持続可能)関連ビジネスの累計契約額で1兆円を目指す。目標達成の時期を来計画よりも4年前倒しするのを決定し、組織横断型でサステナブルエコノミー(循環経済)ビジネスを推進する部門部署も新設した。幅広い金融機能を持つ強みを生かすことで、社会課題を解決するサービスを伸ばし、25年度の経常利益を1400億円(22年度比6.2%増)に引き上げる。

傘下のSMFLから、営かりリース・ファイナンス・エコノミー推進ラーイパーナース(東京)の提供まで幅広くキングチームは、リー都千代田が、25年く手掛ける自社の強みとしての強みを追求し、25年度の国内・再エネ発電事業の保有量目標を従来比5割増の90万kWに引き上げるなど、再生可能エネルギー発電事業が拡大している。脱炭素に向け国内拠点

の新設したサステナブル手法や管理職、リ事業のうち、低収益率

1. 製品の開発に向けた施策を立案する。産業実業物産会社のSMARIT(名古屋)市西區)といったグループ企業とも連携。製造業などの協業と循環型サービス確立に向けた協議を始めた。

低金利が期化する中、SMFLは既存のリース・ファイナンス事業のうち、低収益率



クラウド型資産管理強化

SMFLは幅広い金融戦する3カ年の新中期の産業が参入するDクラウド型資産管理

SMFLは幅広い金融戦する3カ年の新中期の産業が参入するDクラウド型資産管理

SMFLは幅広い金融戦する3カ年の新中期の産業が参入するDクラウド型資産管理

SMFLは幅広い金融戦する3カ年の新中期の産業が参入するDクラウド型資産管理

SMFLは幅広い金融戦する3カ年の新中期の産業が参入するDクラウド型資産管理

SMFLは幅広い金融戦する3カ年の新中期の産業が参入するDクラウド型資産管理



専務執行役員 関口栄一氏

SMFLは幅広い金融戦する3カ年の新中期の産業が参入するDクラウド型資産管理

SMFLは幅広い金融戦する3カ年の新中期の産業が参入するDクラウド型資産管理

SMFLは幅広い金融戦する3カ年の新中期の産業が参入するDクラウド型資産管理

SMFLは幅広い金融戦する3カ年の新中期の産業が参入するDクラウド型資産管理